

# お知らせ

INFORMATION

No.2015-37

2015年9月

病体生理研究所

## 検査内容の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目におきまして検査内容の変更をさせていただきます。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 【検査内容の変更について】

#### ◆ 抗利尿ホルモン

アルギニンバゾプレッシン (AVP) (ADH)

[17462] …検査案内掲載 P.29

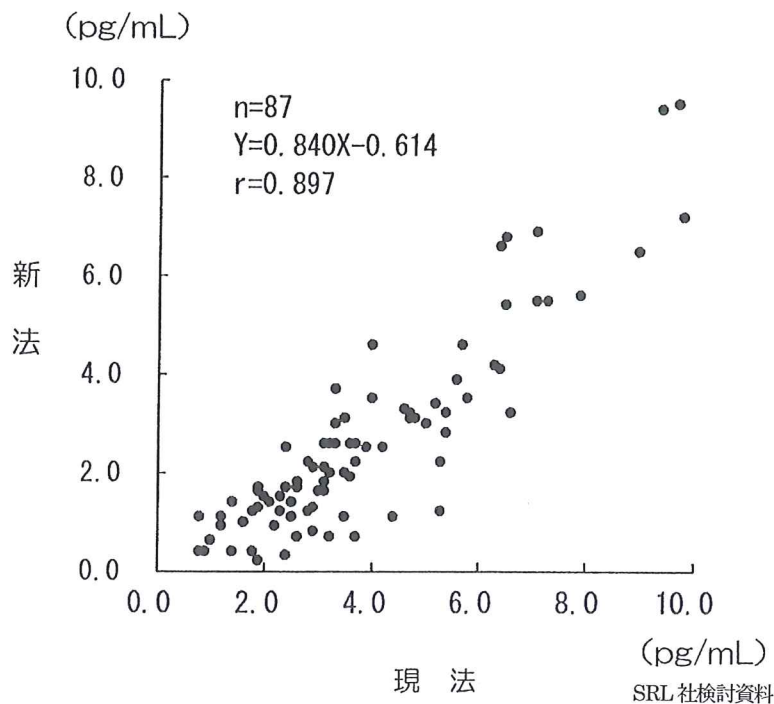
《変更日》 2015年10月1日(木) 受付分より

【検査内容の変更について】

検査項目〔コード〕 検査案内P	変更箇所	新	従来	備考
抗利尿ホルモン アルギニンバゾ プレッシン (AVP) (ADH) 〔17462〕 P.29	検体材料 保存	EDTA 血漿 1.5mL 絶凍	EDTA 血漿 2.2mL 絶凍	再委託先の試薬 変更のため。  識別のため、 1年間「!」の表 示を行います。
	基準値 (単位)	2.8 以下 pg/mL  (水制限の場合、基準 値は 4.0 以下となりま す。)	3.8 以下 pg/mL	
	備考欄	採血後、速やかに血 漿分離して下さい。 溶血でのご依頼は避 けてください。 ※参照	デスマプレシン (略薬：DDAVP) 投与患者の検体で のご依頼は避けて ください。 溶血および乳び検 体でのご依頼は避 けてください。	

※ 従来試薬では、中枢性尿崩症の治療薬デスマプレシン投与中の患者検体で高値になることが報告されておりましたが、本試薬ではデスマプレシンとの交差性が低い抗体を使用することにより、特異性が高まることが期待されています。

【従来法と新法の相関】



以上